

# 数 学 ( 1 )

受験番号

《注意》

- ・解答欄が  以外の問題は必ず考え方も書くこと。
- ・分数は、それ以上約分できない分数で表すこと。
- ・根号の中ではできるだけ簡単にすること。また、分母に根号をふくまない形になおすこと。
- ・円周率は  $\pi$  として計算すること。

1 次の  にあてはまる数または式を書き入れなさい。(56点)

(1)  $2 - 3 \times (-2)$  を計算すると、 である。

(2)  $(-2)^3 \times (-3)^2 \div 6^3$  を計算すると、 である。

(3)  $\frac{3}{\sqrt{2}} - \frac{4}{\sqrt{8}}$  を計算すると、 である。

(4)  $(2 - \sqrt{3})^2 - (2 + \sqrt{3})^2$  を計算すると、 である。

(5)  $\frac{2x+y}{3} - \frac{y-2x}{6}$  を計算すると、 である。

(6)  $3ax^2 + 9ax - 30a$  を因数分解すると、 である。

(7)  $x$  の2次方程式  $(x+2)^2 = 4$  を解くと、 $x =$   である。

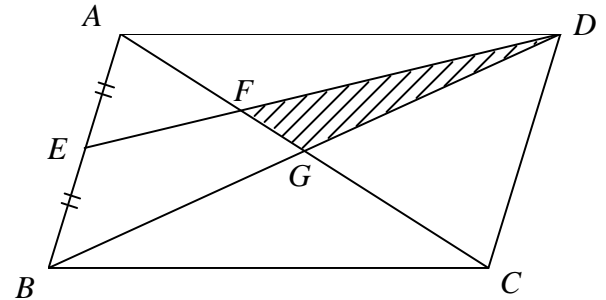
(8) 関数  $y = -2x^2$  において、 $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq 2$  のとき、 $y$  の変域は、  $y$  である。

(9) 0, 1, 3, 5の数字が1つずつ書かれた4枚のカードがある。この中から2枚を選び、2けたの整数をつくる。5の倍数は

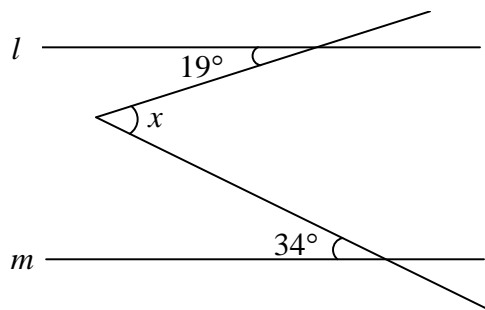
通りできる。また、3の倍数は  通りできる。

(10)  $x < \sqrt{7} - 7$  にあてはまる最も大きな整数  $x$  は、 である。

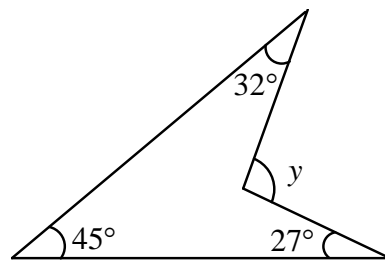
(11) 右の図で、平行四辺形  $ABCD$  の辺  $AB$  の中点を  $E$  とし、線分  $DE$ 、 $DB$  と対角線  $AC$  の交点をそれぞれ  $F$ 、 $G$  とするとき、 $DFG$  の面積は平行四辺形  $ABCD$  の面積の  倍である。



(12) 下の図の  $x$ 、 $y$  の大きさを求めなさい。ただし、 $l \parallel m$  とする。



$\angle x =$   °



$\angle y =$   °

2 3けたの自然数がある。この自然数は百の位と十の位の数が等しく、すべての位の数を加えると、7になる。また、十の位はそのままにして、百の位と一の位を入れかえてできる自然数は、もとの自然数より396大きい。もとの自然数を求めなさい。(8点)

3 図のように、関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  のグラフの上に2点  $A, B$  がある。点  $A, B$  の  $x$  座標はそれぞれ  $-2, 3$  である。このとき、次の各問いに答えなさい。(18点)

(1) 点  $A$  の座標は、 ( ,  ) である。

(2) 直線  $AB$  を表す式は、  $y =$   である。

(3)  $OAB$  の面積は、 である。

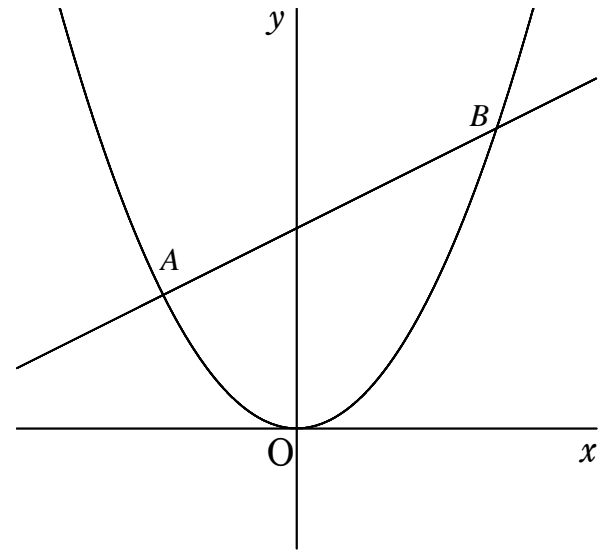
(4) 点  $A$  を通り、 $x$  軸に平行な直線と直線  $OB$  の交点を  $C$  とするとき、

$OAC$  と  $ABC$  の面積の比を最も簡単な整数の比で表すと、

$OAC : ABC =$    $:$   である。

(5) 直線  $AB$  と  $y$  軸の交点を  $D$  とし、点  $B$  を通り  $y$  軸に平行な直線と  $x$  軸の交点を  $E$  とする。四角形  $BDOE$  を  $x$  軸のまわりに1回転

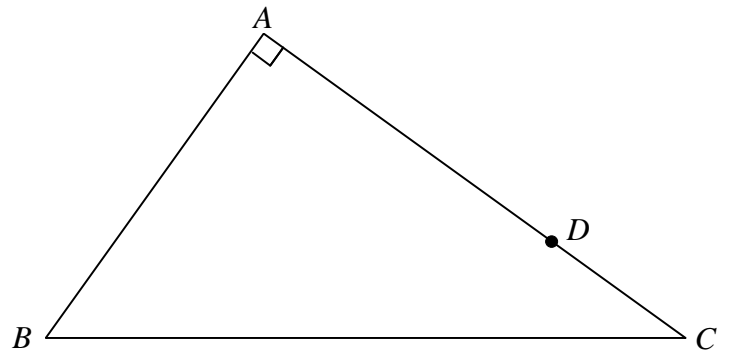
してできる立体の体積は、 である。



4 図のような  $\angle A = 90^\circ$  の直角三角形  $ABC$  において、 $AB = 3\text{ cm}$ 、 $BC = 5\text{ cm}$ 、 $CA = 4\text{ cm}$  である。辺  $AC$  上に  $AD = 3\text{ cm}$  となる点  $D$  をとる。3点  $A, B, C$  と同じ平面上を、点  $P$  が  $AP = 3\text{ cm}$  となるように動く。このとき、次の各問いに答えなさい。(18点)

(1) 線分  $AP$  と辺  $BC$  が点  $E$  で垂直に交わるとき、

$\angle ABC$  と  $\angle EBA$  となることを証明せよ。



(2) 線分  $AP$  が線分  $BD$  と交わるとき、 $\angle BPD =$    $^\circ$  である。

(3) 線分  $AP$  が線分  $BD$  と交わらないとき、 $PD = 3\text{ cm}$  ならば、 $\angle APB =$    $^\circ$  である。

(4)  $\triangle PBC$  の面積が最大となるとき、その面積は、  $\text{cm}^2$  である。